

## 故前理事工學博士寺野精一君小傳

故正三位勳一等寺野精一君は明治元年十一月を以て名古屋に生る幼にして穎悟なり明治二十三年工科大學造船學科を卒業し二十五年工科大學助教授に任命せられ同三十年海外に留學し三十二年歸朝するや直に工科大學教授に任せられ今日に至る其間實に三十一年終始一貫渾然玉の如き人格を以て熱心に育英に従事せらる氏は獨り造船學の泰斗たるのみならず實に現時の本邦工學界に於ける中心人物たり即ち一般工學及工業教育規格統一調査又は航空學の諸方面に涉りて其貢獻する處と頗る多く其間或は工學部長となり又現に航空學研究所長たり

大正四年本協會の設立の議起るや其創立委員として本會の創設に努力せられ直に選ばれて理事となり會務に従事せらるゝ事茲に年あり大正八年其職を辭せらるゝや重ねて評議員として常に本會の爲めに盡瘁せらる本會の今日ある實に故博士に負ふ所頗る大なり

昨大正十一年春以來其健康を害せられ數月前より病床の人となり終に本年一月八日を以て薨去せらる痛悼禁する能はず嗚呼哀哉